

緩和医療学/臨床腫瘍学

責任者：伊藤 薫樹 教授

教育成果（アウトカム）：

臨床の現場を実際に体験し、これまでに学んできた基礎・臨床医学の基礎知識を再構築し、緩和医療・臨床腫瘍診療において基本的問題解決に必要な基礎知識と包括的対処法を習得する（ディプロマポリシー：1,2,3,4,5,6,7,8,9）。

行動目標：

外来・病棟実習

- * 1. 患者の病歴を聴取し、その医療情報を説明できる。
- * 2. 理学所見と全身状態より患者の状態を説明できる。
- * 3. がんの診断に必要な検査法とその所見を説明できる。
- * 4. がんの治療法と集学的治療の理念、目的、意義について説明できる。
- * 5. がん薬物療法の副作用と支持療法を説明できる。
- * 6. がん薬物療法におけるチーム医療の意義と重要性を説明できる。
- * 7. 緩和ケアについて、その理念、目的、意義について説明できる。
- * 8. 全人的な“いたみ”を理解し、その評価方法と対応方法を説明できる。
- * 9. 患者および家族とのコミュニケーションの重要性を説明できる。
- * 10. がん性疼痛の実践的な基礎知識を説明できる。
- * 11. 緩和ケアに関わる多職種(医師、看護師、薬剤師、MSW, 臨床心理士ほか)それぞれの役割について理解し、協働することの重要性を説明できる。

特に留意すべき注意事項：

緩和医療学

1. 実習第1日目(月曜日、月曜日が休日の際は火曜日)午前8:30に緩和ケア外来に集合し実習のオリエンテーションと対応中の患者レビューを行う。
2. 毎火曜日の16時から行われている緩和ケアチーム全体ミーティングに参加する。
3. 実習期間中に症例検討を行い、患者の「全人的なつらさ」に焦点を当てたアセスメントとマネジメントの方法について考察する。
4. 毎月第3月曜日の18:30~19:30に開催される「岩手緩和テレビカンファレンス」に出席しディスカッションに参加する。
5. 水曜日の午後に、実習期間中の学習に関する口頭試問を行う。

臨床腫瘍学

1. 実習第3日目(水曜日)午前8:30から、臨床腫瘍学講座の医局において臨床腫瘍学実習のオリエンテーションを行う。
2. 第1,3週の水曜日7:30からに開催される「がんボードミーティング」に参加する。
3. 実習期間中に各人1症例を担当し、診療内容を診療録に記載し、治療と支持療法についてまとめ、質疑応答を行う。
4. 金曜日の3時限目に口頭試問、及び実習のまとめを行う。

事前学習内容および事前学修時間：

シラバスに記載されている実習内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学習(予習・復習)を行うこと。各実習に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。さらに、医療面接・診察など基本的臨床技能実習で修得した手技についても再確認しておくこと。本内容は、全実習に対して該当するものとする。

第4・5学年臨床実習スケジュール [緩和医療学/臨床腫瘍学]

[第1週]

指導医師名：①木村祐輔特任教授 ②青木優子助教 ③伊藤薫樹教授

曜	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限
月	オリエンテーション、 外来実習（緩和ケア外来）	外来実習（緩和ケア外来） 病棟実習	症例検討	症例検討
[場 所] [指導医]	[緩和ケア外来] ①②	[緩和ケア外来・病棟] ①②	[緩和医療学科医局] ①②	[緩和医療学科医局] ①②
火	外来実習（緩和ケア外来）	外来実習（緩和ケア外来） 病棟実習	症例検討	緩和ケアミーティング
[場 所] [指導医]	[緩和ケア外来] ①②	[緩和ケア外来・病棟] ①②	[緩和医療学科医局] ①②	[緩和ケア外来] ①②
水	キャンサーボードミーティング・ 外来実習	外来実習	症例解説	口頭試問／実習のまとめ
[場 所] [指導医]	[臨床腫瘍科外来] ③	[臨床腫瘍科外来] ③	[緩和医療学科医局] ①②	[緩和医療学科医局] ①②
木	外来実習	外来実習	外来化学療法室実習	症例解説
[場 所] [指導医]	[臨床腫瘍科外来] ③	[臨床腫瘍科外来] ③	[外来化学療法室] ③	[臨床腫瘍学講座医局] ③
金	症例検討	症例検討	症例検討	口頭試問／実習のまとめ
[場 所] [指導医]	[臨床腫瘍学講座医局] ③	[臨床腫瘍学講座医局] ③	[臨床腫瘍学講座医局] ③	[臨床腫瘍学講座医局] ③

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用区分	使用機器・器具等の名称	台数	使用目的
視聴覚用機械	液晶ディスプレイ	2台	講義・症例検討
視聴覚用機械	パソコン一式 (MACPro)	3台	講義・症例検討
その他	ホワイトボード	2台	講義・症例検討

成績評価方法

臨床実習評価は以下の項目について 100 点満点で評価する。

1. 知識：15 点
2. 態度：20 点
3. 技能：10 点
4. 問題解決能力：15 点
5. 技能試験：10 点
6. 指導医評価：10 点
7. ポートフォリオ：20 点